

令和3年度東北地区高等専門学校柔道大会
新型コロナウイルス感染拡大防止等に関する対策

1. 大会規模の縮小

- ・今大会では、開・閉会式を簡略化する。開会式は参集・整列はせず、選手控え場所の観客席へ着席した状態で、開会宣言及び審判長注意、開催者からの連絡のみを行い。閉会式は、入賞者の発表及び閉会宣言のみとする。
- ・試合時間を4分から3分へ短縮する。
- ・観客は原則無観客とし、出場校関係者、大会関係者の入場を管理・制限し大会を実施する。

2. 入場制限について

1) 観客

原則無観客とする

2) 入場を認める参加者（出場校関係者）

団体戦に選手登録した7名、マネージャー1名、団体出場チームの監督1名、引率教員1名、コーチ1名、個人戦出場選手、個人戦のみ参加校の監督1名、コーチ1名、付き添い者（練習相手、個人戦のみ出場の高専1校につき1名）のみとする。
上記以外の学生及び引率者の入場は認めない。

3) 入場を認める大会関係者

大会競技役員、補助員学生以外の入場は認めない。

3. 健康観察票の提出、検温の実施について

1) 健康観察票の記入及び提出

全ての参加者及び大会関係者には入場時受付にて別紙「健康観察票」の提出を求める。
2週間前からの検温及び体調に関する記録を正確に記録すること。

※大会当日受付へ提出

2) 検温の実施

原則会場入り前までに各自で検温を行い、忘れた場合は受付の体温計で検温を行う。

3) 参加の取りやめ

「健康観察票」の記載内容に問題がある場合、提出に不備がある場合や入場時検温で異常が認められる場合は、大会実行委員会の判断により、参加を認めない。

4. マスクの着用及び手指消毒、身体距離の確保について

- ・全ての参加者及び大会関係者には常時マスクの着用を義務付ける。ただし、試合を行う者と試合前の練習時は除外する。
- ・入場場所、各会場入り口等に手指用消毒液を設置する。参加者及び大会関係者は適宜消

毒を行い感染防止に努めることを強く依頼する。

・身体的距離を確保しての会場配置や待機場所の設置、参加者の動線等について、感染防止に配慮するとともに、参加者には、常時適切な身体的距離を確保し、行動するよう強く依頼する。感染防止に配慮した対策を講じる。

5. 試合前、試合中及び試合後の選手、監督の行動について

- ・試合前のウォーミングアップは他校との身体的距離を確保して行うこと。
- ・試合中、選手には大きな発声をしないよう、自粛を求める。
- ・会場内において、大きな声での会話や応援等をしないこととする。特に、試合中の監督による大声での指示や指導は禁止とする。

6. 柔道衣コントロールについて

1) 柔道衣コントロール

選手を全員集合させて一斉には行わず、審判員が目視で確認を行う。なお、疑義が生じた場合は各試合場において審判員が測定器具を用いて検査を行う。

また、試合開始後に疑義が生じた場合は審判員が測定器具を用いて検査を行い規格に不適合と判断された場合は、試合開始前の検査の結果に関わらず「失格」となることを理解の上、選手・監督は責任をもって規格に適合しているか、事前に確認すること。

- ##### 2) 赤白帯試合をする際の赤白を示す赤白の帯について、各自が赤白それぞれの帯を持参することを義務付ける。新型コロナウイルス感染防止の観点から、実行委員会では準備しない。

7. その他

- ①試合会場内で飲食ができるのは観客席のみとし、周囲の人となるべく距離をとり、対面を避け会話を控えるとともに、飲料については、ペットボトル・ビン・缶や使い捨ての紙コップを使用し、共用はしないこと。
- ②試合会場は、定期的に畳・監督選手席・その他大会用備品などの消毒を行う。
- ③タオルの共用はしないことを指導する。
- ④各自が責任をもってごみの持ち帰りを行うことを呼びかける。
- ⑤館内は、定期的に換気を図る。